



国際会長ニュース

2023年3月

国際会長メッセージ

3月は「地域奉仕」(CS)の強調月間です。そこで、今回の国際会長ニュースでは、アイラ・ビオック博士の著書「可能な限りの最善の治療：終末期医療を変革する医師の挑戦」(2012年)の中で語られている、他者への奉仕に関する良い話を紹介したいと思います。-

ビオック博士は、文明社会の発展における思いやりの役割について書く中で、次のように指摘しています。



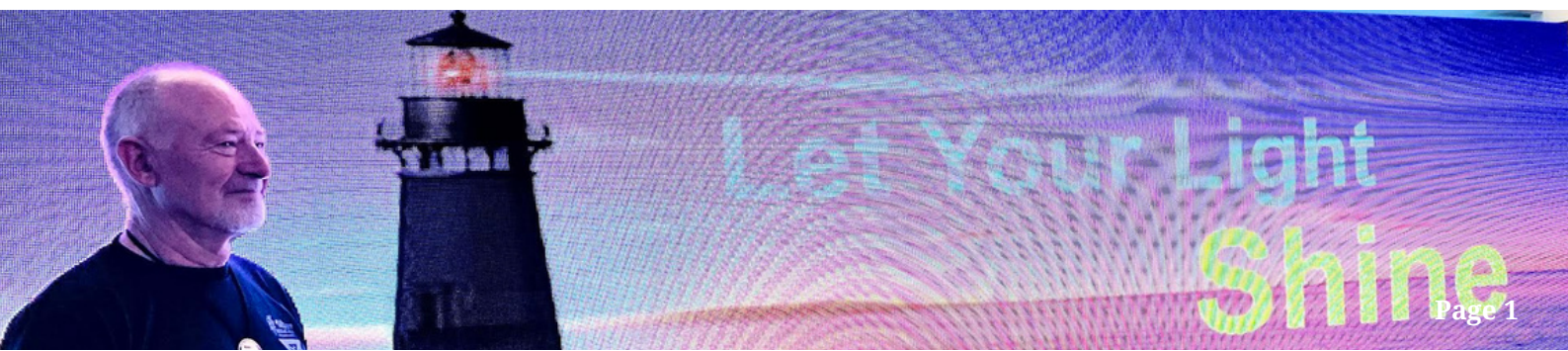
「昔、人類学者のマーガレット・ミードが学生から、ある文化における文明の最初の兆候は何だかと思うかと尋ねられたことがありました。その学生は、ミードが釣り針や土鍋や砥石について話すのだらうと思っていました。しかし、そうではありませんでした。ミードが言うには、古代文化における最初の文明のしるしは、折れて治った大腿骨(太ももの骨)なのだそうです。ミードによると、動物界では足を骨折すると死を意味するとのことでした。危険から逃げることも、川へ水を飲みに行くことも、狩りで食料を調達することもできないからです。徘徊する獣のえさになることを意味するのです。どんな動物でも、骨折が治るまで長くは生きられません。折れた大腿骨が治ったということは、誰かが時間をかけて倒れた人に寄り添い、傷口を縛り、安全な場所まで運び、回復するまで看病したという証拠です。困難の中で誰かを助けることが、文明の始まりだとミードは言います。私たちは、他人に奉仕するとき、最高の力を発揮するのです。文明的でありましょう。」

困っている人に奉仕し、助けたいという気持ち、ワイズメンズクラブ国際協会の会員であることを定義しています。共感と思いやりによって、皆さんはクラブ、YMCA、地域社会のために数え切れないほどの時間と資源をボランティアとして提供し、自分自身よりも他者のニーズを優先させます。家族、友人、そしてより広い社会集団の中で、あなたの他人への関心と優しさは気づかれないことはないでしょう。個人的な困難、病気、悲しみ、トラウマが生じたとき、他の人々はあなたを頼りにするでしょう。ちょうど文明の曙のときからそうであったように。そして、何度も何度も、私たちはその人たちのために、そしてお互いのために存在することになるのです。

これはもちろん、イエス・キリストが私たちに与えたメッセージであり、多くの信仰の基礎となっているものです。これは、私たちの運動としての存在のすべての基礎であり、私たちのモットーである「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」を支えるものです。困っている人々への積極的な奉仕を通じて、私たちは「輝かそう、わたしたちの光を」なのです。人間らしさと敬意をもって行動するとき、私たちは周囲の人々にポジティブな影響を与えることができます。ワイズメンズクラブ国際協会の名の下に行われるとき、それらの行動は私たちが誰であり、何を大切にしているかを公に映し出すものです。

今月は、私と一緒に地域奉仕を祝いましょう。団結し、活気づき、そして目に見えるようにしましょう

ウルリック・ラウリドセン
国際会長



国際会長インド訪問 2023年2月



上の写真：ハイデラバードでの中央インド区100周年記念祝賀会
左：トリバンドラムのインド地域事務所訪問



上：インド地域次期区理事および次期部長研修会



上：中央西インド区・01部（MWIR）リーダー訪問
左：北/東/北東インド区のニューデリーでのリーダーシップトレーニング





国際本部ニュース

国際書記長 ジョース・ヴァルギース

国際選挙

国際選挙が終わり、2023年7月1日から任期が始まる役員が発表され、次期国際会長にチ・ミン（チャーミング）が、次期国際会計にエリック・ブレナムが選ばれました。

立候補された皆さま、そして期日内に投票用紙を提出されたクラブの皆さまに感謝いたします。

選挙結果

7人の女性国際議員

来年度の国際議員-15名のうち、7名が女性となり、国際議会における女性代表の割合がこれまでで最も高くなります。



ミリアム・キグリ
(アフリカ)



ヤンヤン・ウォン
(アジア太平洋)



利根川 恵子
(アジア太平洋)



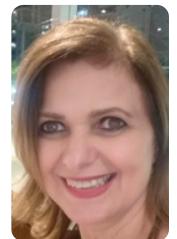
サンドラ・R・ハミルトン
(カナダ・カリブ海)



ピア・カロセルグ
(ヨーロッパ)



ニランジャナ・バイマル
(インド)



エディレン・ゴンザルベス
(ラテンアメリカ)

ワイズメンズクラブ国際協会設立100周年記念祝賀会：2023年3月10日～12日

今月、待望のワイズメンズクラブ国際協会設立100周年記念祝賀会「YMI100」が、3月10日から12日まで台湾・台北のグランドハイアットホテルで開催されます。2020年以降、あまりにも身近なできごとになりましたが、新型コロナウイルスによるキャンセルや延期があり、ホストチームは、この一世一代の大イベントに参加するため、世界中から集まる700人の代表団を迎えることに意気込んでいます。

国際RDEサミット：2023年3月12日～14日

YMI100の直後には、第3回国際RDEサミットが開催され、約75名の参加者とゲストが3月12日から14日にかけて台北に集まります。2019年に初めて開催されたこのサミットは、この機会にインスピレーション、ブレインストーミング、ネットワーキング、教育そしてグローバルな交流の場を提供する機会となり、大きく期待されています。

Week4Waste (ゴミのための週)

環境をテーマにしたWeek4Wasteは、今年も4月17日から24日まで開催されます。クラブは、地域の公園やビーチに残されたゴミを拾うなど、少なくとも1つの「クリーンアップ」活動を企画するよう求められています。また、毎年4月22日のアースデイ（地球の日）にちなんで行われる「大規模グローバルクリーンアップ」を通じて、イベントのコーディネーターや広報を行うことも検討してください。



新しい国際本部事務所

100周年記念の年に新しい国際本部を購入したことで、ポール・ウィリアム・アレキサンダー 遺産計画の最も大きなプロジェクトが実現しました。昨年末から始まった改装工事は数週間で完了し、職員は、4月上旬から新しいオフィスで働くことができます。



強調月間

3月は地域奉仕(CS)とグリーンプロジェクトの強調月間です。

社会奉仕活動

恩返しをすることは、ワイズメンズクラブ国際協会の認証クラブの定義であり、私たちのクラブは定期的に、そして熱心に自分たちの地域社会のために奉仕しています。あなたがやっているとてもユニークで良いことを情報共有することが推奨されています。あなたのクラブが積極的に関わっているインパクトがあって、強調できるストーリーをワイズメンズクラブのロゴが写っている写真と共に提出してください。これは、ブランドアイデンティティ構築において大きな意味を持ちます。他のクラブを鼓舞し、次の100年に向けて力強く歩いていくために必要な組織的な誇りと連帯感を創造します。

インパクトストーリー
を投稿 してください

あなたのクラブ、部、区、地域は、今年度、国際執行役員の注意を喚起するような特別な、あるいは並外れた活動に取り組みましたか。2022～23年CS表彰の選考対象として、あなたのクラブのプロジェクトを提出してください。

以下の2つのカテゴリーがあります：

- 独立型：単独のクラブがコーディネートし、実施した地域奉仕活動が対象
- 集団型：部、区、地域レベルの複数のクラブが関与する地域奉仕活動が対象

応募の締め切りは2023年6月15日です。

賞に応募する

グリーンプロジェクト

ワイズメンズクラブ国際協会は、リーダー達の移動に伴う二酸化炭素排出量を相殺するプロジェクトに投資しています。クラブやYMCAは、温室効果ガスの排出を削減または除去するプロジェクトに資金を申請することができます。ウェブサイトでは、資金申請や寄付による支援方法について詳しく説明しています。

グリーンプロジェクト

新クラブについて

2月13日現在、70の新しいクラブが加盟し、毎週申請が続いています。新クラブは、約800人の新会員に相当します。新クラブ結成の機会をお探しの方は、区理事までご連絡いただくか、[ウェブサイト](#)をご覧ください。

編集後記

国際会長ニュースへのご意見・ご感想を編集部にお寄せください。

2023年4月号で特集するのはWeek4Wasteとロールバックマラリアです。

クリックすると、あなたのインパクトストーリーを投稿できます。

2023年3月10日締め切り

ここをクリックする



地域奉仕

地域奉仕国際事業主任

アジス・バブ・D

ワイズメンズクラブ国際協会の皆さま



「我々は得るもので生計を立てるが、与えるもので人生を作る」 - ウィンストン・チャーチル

私たちの統一国際プロジェクト「[世界を癒そう](#)」は、健康、環境、教育を戦略テーマとしており、未だ新型コロナウイルスの影響を受けて苦しんでいる多くの仲間たちの生活を改善するために、私たちの手を広げる大きなチャンスとなります。

世界保健機関（WHO）によると、現在のところ、約10%～20%の人が、新型コロナウイルスによる感染症から回復した後、さまざまな中・長期的影響を経験していることが示唆されています。これらの中長期的な影響は、家族の収入に悪影響を及ぼし、喘息、心臓病、糖尿病などの様々な固有の健康問題をすでに抱えている人々にとって、状況はより深刻です。

このような不幸な仲間を支援し、彼らの苦しみを少しでも和らげるために、クラブに寛大な寄付を呼びかけましょう。

ランセット誌に掲載された研究によると、孤児と養育者の死は、新型コロナウイルスに関連した死から生じる隠れた感染症拡散です。これは、子どもたちの生活や教育に悪影響を及ぼします。24歳から50歳の死亡では、それによって孤児となった子どもの数が死亡者数を上回りました。このため、すべての学校で少なくとも1人の子どもが孤児となっています。

私たちはクラブに、学校でそのような子供たちを見つけ、将来他の子供たちと同じように能力を発揮できるよう、彼らの勉強を支援するよう勧めましょう。

私たちの運動は76カ国のクラブで構成されており、それぞれ経済的、社会的条件が異なっています。また、クラブが活動する社会におけるニーズも国によって異なります。多くの開発途上地域では、飲料水、衛生設備、医療、教育といった基本的なニーズが満たされていないため、ワイズメンズクラブのような市民社会の当事者による効果的な介入が求められることが多いです。しかし、地元のクラブは、これらの問題に関して適切なサポートを提供するためのリソースを持っていないかもしれません。このような場合、先進国のクラブと連携し、そのリソースが上記のクラブがこのようなプロジェクトを実施するのを支援できるようにすることができ、そのリソースが上記のクラブがこのようなプロジェクトを実施するのを支援できるようにすることができます。トリバンドラム（南西インド区）ワイズメンズクラブには、トリバンドラムのティルマラにあるYMCAビルという具体的なモデルがあります。これは、25年前にヨーロッパのクラブの協力を得て建設されたものです。

私たちは、世界的なネットワークを活用して、世界中に支援を集め、提供する機会を得ています。既存の[ブラザー・クラブ](#)との関係、あるいはこの目的のために新たに作られた関係も、その出発点として適しています。

地域社会への還元と強化は、加盟クラブの主要な目的です。クラブとして、あるいは地域やクラブ間のネットワークとして、主要な地域奉仕プロジェクトをさらに発展させ、そのストーリーを伝え、毎年[CS表彰](#)の選考対象としてプロジェクトを提出することを考えるよう、私は要請します。

すべての人にとってより良い世界になるよう努力しましょう。

アジス・バブ・D
地域奉仕国際事業主任